

# PJハンガー取扱説明書 (EPSON プロジェクター用)

## IWS-ETG7-5

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この「取扱説明書」は、本製品を安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用前に必ずお読みください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用いただき、大切に保管してください。

### 安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、火災が起きたり人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。

#### 注意

下記の注意を守らずに誤った取り扱いをすると人が障害を負う、または財産に損害を与える恐れがあります。

 すべての止めネジはしっかりと確実に固定してください。けがや破損の原因となります。

### 組立前に準備する工具

プラスドライバー

### 内容物

開梱時に必ず内容をご確認ください。

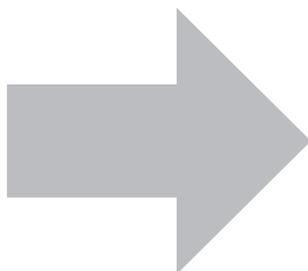
① PJハンガー .....	1 個
② PJアーム .....	1 個
③ シャフトセット (シャフト、M12 袋ナット、M12 スプリングワッシャー) .....	各 1 個
④ PJアーム用コの字金具 .....	2 個
⑤ 配線おさえプレート .....	1 個
⑥ タッチユニット取付板 .....	1 個
⑦ スロープ .....	1 個
⑧ 安全カバー .....	1 枚
⑨ 安全カバーふた .....	1 枚
⑩ プロジェクター固定ネジ (M4 × 10 セムス P=3) .....	4 個
⑪ PJハンガー固定ノブ .....	2 個
⑫ タッチユニット取付板固定ネジ (M4 × 14 セムス P=3) .....	2 個
⑬ タッチユニット本体固定ネジ (M3 × 10 セムス P=3) .....	2 個
⑭ スロープ固定ネジ (M4 × 18 セムス P=3) .....	4 個
⑮ 余白ガイドラベル (黒・シルバー) .....	各 4 枚
⑯ 六角レンチ (大) .....	1 個
⑰ スパナ (大) .....	1 個
⑱ スパナ (小) .....	1 個
⑲ スペーサー .....	4 個

## 取り付ける PJ の機種を確認する

本製品はプロジェクターの機種によって取り付け方法が異なります。取り付け方法が誤っていると、投影画面の調整ができません。下記をご確認いただき正しく取り付けてください。

### WXGA

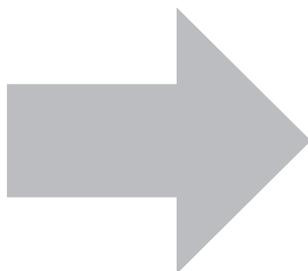
EB-685W  
EB-685WT  
EB-695WT



3 ページ～ 12 ページを  
ご覧ください

### WUXGA

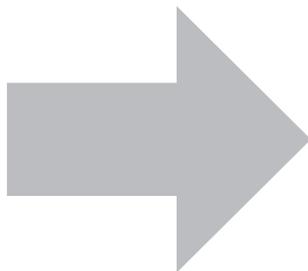
EB-696UT  
EB-1440UT  
EB-1460UT



13 ページ～ 22 ページを  
ご覧ください

### WUXGA-LE

EB-710UT  
EB-1470UT

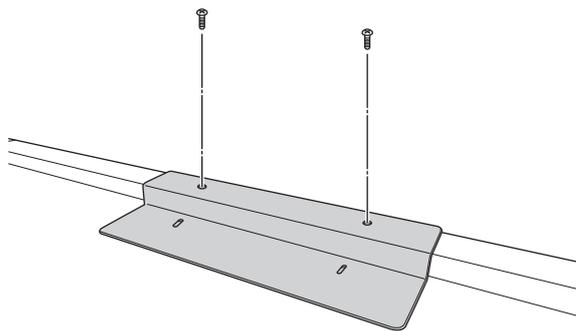


23 ページ～ 32 ページを  
ご覧ください

## タッチユニットを取り付ける

### 1. タッチユニット取付板を、ネジ2個でスクリーンボードに取り付けます。

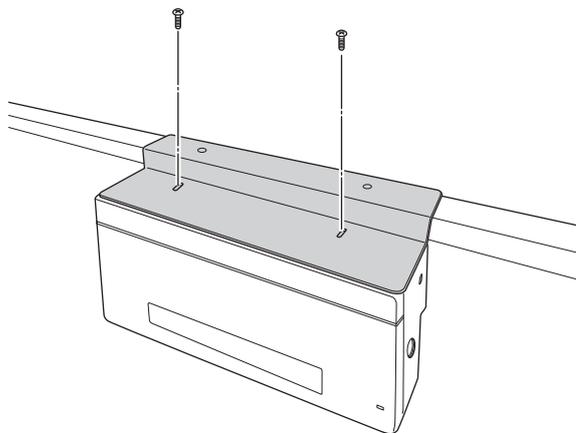
- ⑥ タッチユニット取付板
- ⑫ タッチユニット取付板固定ネジ (M4 × 14 セムス P=3) × 2個使用



### 2. タッチユニットをネジ2個で取り付けます。

- ・タッチユニットをスクリーンボードに押さえつけながら、密着させて固定してください。

- ⑬ タッチユニット本体固定ネジ (M3 × 10 セムス P=3) × 2個使用

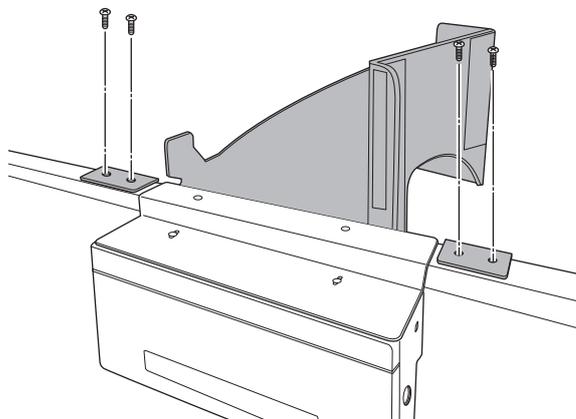


🔍参照 タッチユニットのキャリブレーションは、プロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

## スロープを取り付ける

### 1. スロープを、ネジ4個でスクリーンボードに取り付けます。

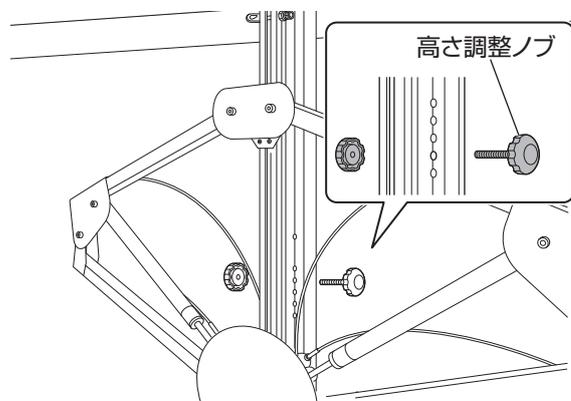
- ⑦ スロープ
- ⑭ スロープ固定ネジ (M4 × 18 セムス P=3) × 4個使用



## PJ ハンガーをセットする

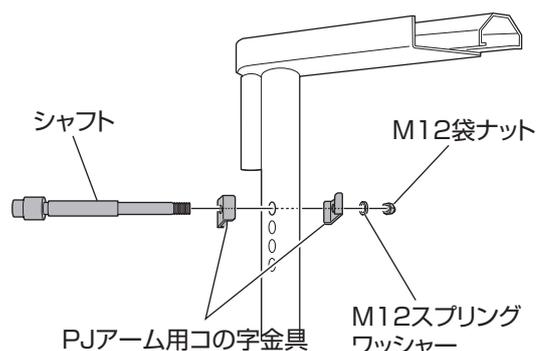
### スクリーン本体のPJアームの高さを設定する

1. PJアームの高さ調整ノブを上から5つ目の穴に差し込み、しっかりと確実に固定します。
  - ・最上段と2つ目の穴の間は少し間隔が空いています。



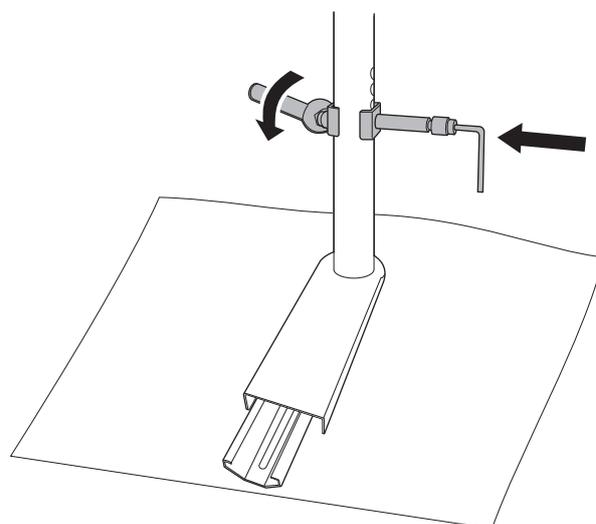
### PJアームにシャフトを取り付ける

1. シャフトをPJアームの一番上の穴に差し込み、PJアーム用コの字金具2個・ワッシャー・ナットと取り付けます。
  - ③ シャフトセット (シャフト、M12 袋ナット、M12 スプリングワッシャー) ×各1個使用
  - ④ PJアーム用コの字金具×2個使用
  - ⑯ 六角レンチ (大)
  - ⑰ スパナ (大)



### シャフト取り付け時の注意

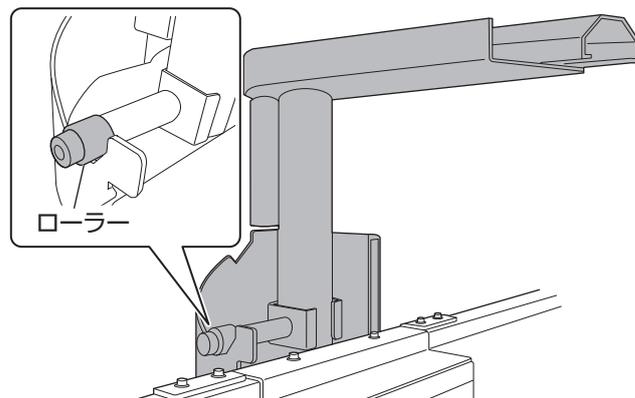
- ・ PJアームを逆さにして平らな場所に置き、キズなどがつかないように布などを敷いて作業してください。
- ・ シャフトに六角レンチ (大) を差し込み、スパナ (大) を回して締めます。
  - ※ ナットの締めすぎにご注意ください。



## PJ アームを取り付ける

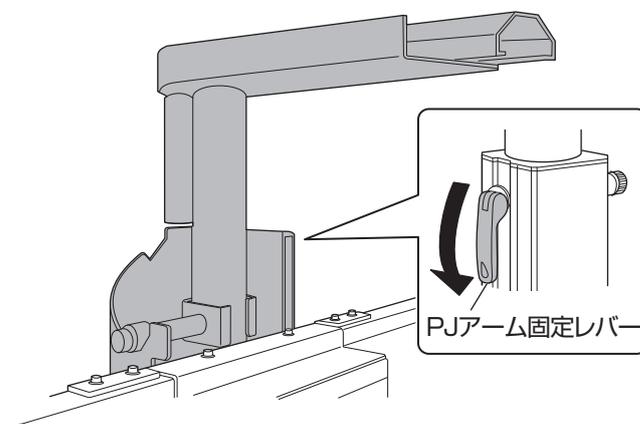
### 1. PJ アームを本体に差し込みます。

- ・PJ ハンガーの差し込み口が正面を向くようにセットしてください。
- ・PJ アームのローラーがスロープに載っていることを必ず確認してください。

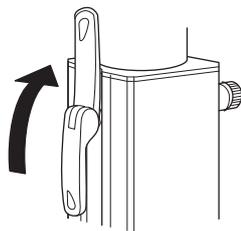


### 2. PJ アーム固定レバーを締めます。

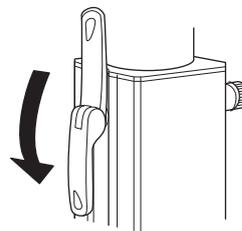
- ◆注記 安全カバー取り付け前にPJアームを動かさないでください。指をはさんでけがをするおそれがあります。



### PJ アーム固定レバーを緩める / 締める



PJ アーム固定レバーを起こして緩める

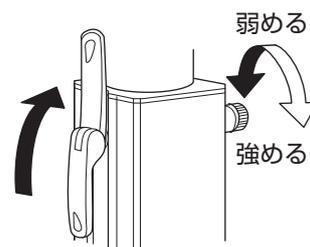


PJ アーム固定レバーを倒して締める

#### PJ アームの固定力が弱いとき…

PJ アーム固定レバーを起こした状態で、ナットをイラストの向きに廻して固定力を調整してください。

※ナットの締めすぎにご注意ください。レバー破損の原因となります。



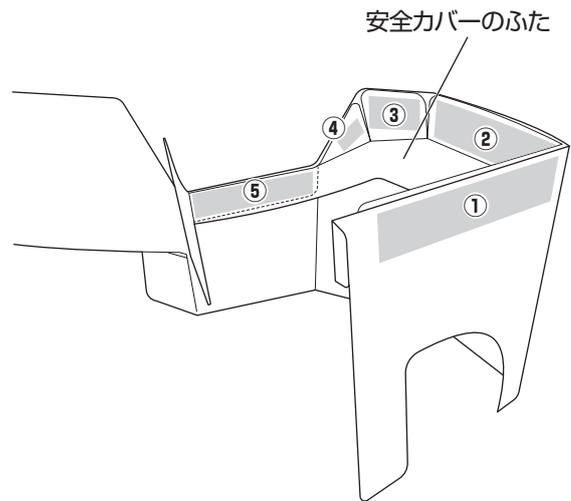
## 安全カバーを取り付ける

1. 安全カバーと安全カバーふたを、イラストの手順で5箇所貼り付けます。

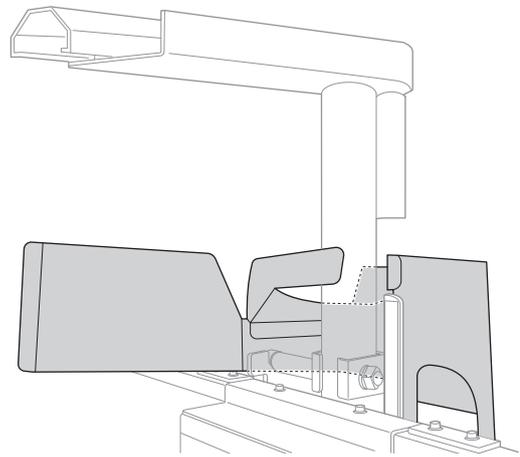
- ・安全カバーと安全カバーふたは、製品にあらかじめ貼付したベルクロテープで貼り付けてください。

⑧ 安全カバー×1枚使用

⑨ 安全カバーふた×1枚使用

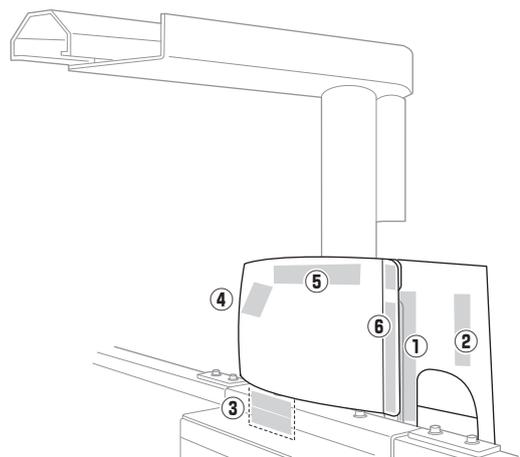


2. 安全カバーをスロープに巻き付けるようにセットします。



3. スロープと安全カバーを、イラストの手順で6箇所貼り付けます。

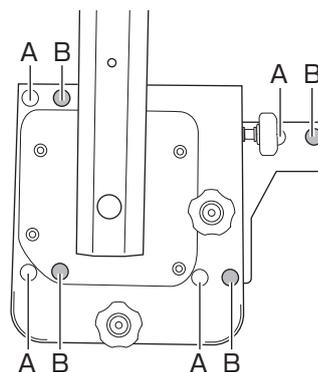
- ・安全カバーとスロープは、製品にあらかじめ貼付したベルクロテープで貼り付けてください。



## PJハンガーを取り付ける

### PJハンガーを取り付ける前に…

WXGA プロジェクターの取り付けに使用するPJハンガーの取り付け穴は、右記イラストのB位置の4か所です。取り付け穴が誤っていると、投影画面の調整に影響を及ぼします。正しく取り付けてください。

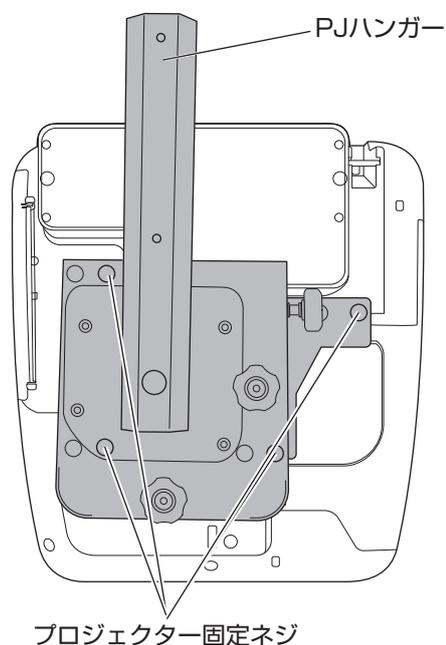


1. PJハンガーをイラストのようにセットします。プロジェクター固定ネジを穴から差し込み、4か所を固定します。ネジがしっかり締まっていることを確認してください。

⑩ プロジェクター固定ネジ (M4 × 10 セムス P=3) × 4個使用

- ・ プロジェクター本体や、作業台にキズが付かないよう注意してください。
- ・ 固定前に、必ずプロジェクターの前後を確認してください。
- ・ PJハンガーを分解しないでください。
- ・ 先端にマグネット付きのドライバーをお使いください。

※ プロジェクター固定ネジのネジ穴には多少あそびがあるため、PJハンガーとプロジェクターが直角になるように取り付けてください。

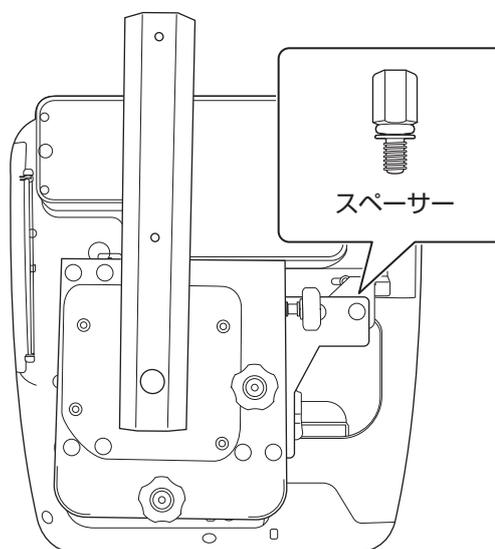


### 画像位置を上下に調整するときは…

PJハンガーとプロジェクターの間に、スペーサーを4か所取り付けてください。

⑥ スペーサー×4個使用

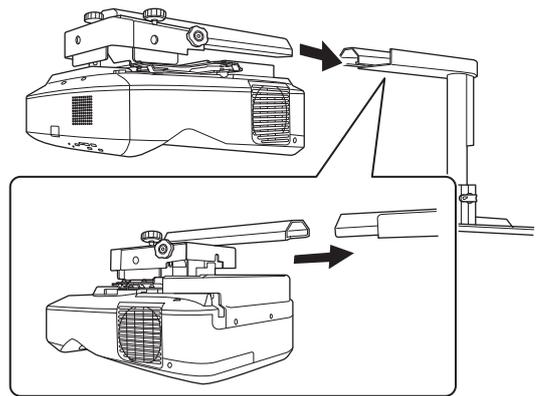
※ スペーサー使用の有無については、画像微調整チャート (12 ページ) を確認してください。



## PJハンガーをPJアームに取り付ける

1. プロジェクターを取り付けたPJハンガーをPJアームに差し込みます。

- ・ プロジェクターの前後を確認してください。

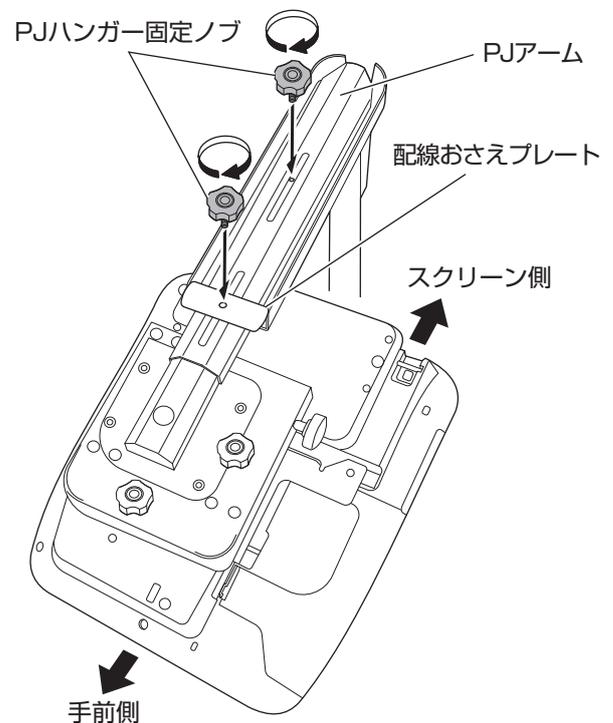


2. PJアームのネジ穴に、PJハンガー固定ノブを差し込んで締めます。

⑪ PJハンガー固定ノブ×2個使用

- ・ 配線おさえプレートを共締めしてください。

⑤ 配線おさえプレート×1個使用



## 投影画面を調整する

プロジェクターに内蔵されているテストパターンか、パソコンを接続して画像を投影し画面を調整します。プロジェクターにデジタル補正や台形補正などを設定している場合は、すべて初期化して補正されていない状態にしてください。

**参照** 詳しくはプロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

**注記** 画面を調整する前に、プロジェクターを左右に振らないでください。プロジェクターとスクリーンボードが接触し、破損の原因になります。

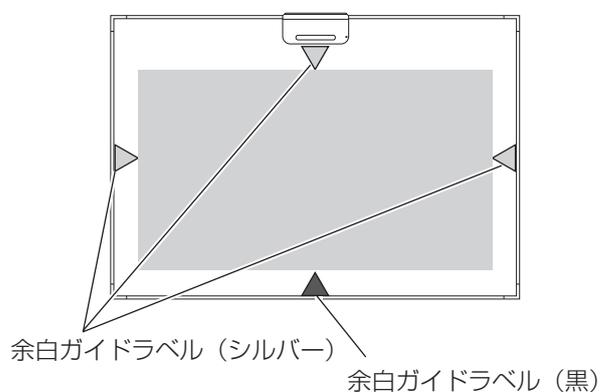
投影画面の調整には、解像度に影響が出る可能性がありますのでプロジェクターのデジタル補正機能を極力使用しないことをおすすめします。

### 調整前の準備： 余白ガイドラベルを貼り付ける

余白ガイドラベル4枚を、スクリーンボードのイラストの位置に貼り付けて投影画面がガイド内に収まるよう調整します。調整が終わったら余白ガイドラベルを剥がします。

⑯ 余白ガイドラベル（シルバー）×3枚・（黒）×1枚使用

**注記** ガイド内に投影画面を収めないと、タッチユニットの動作に影響が出る可能性があります。



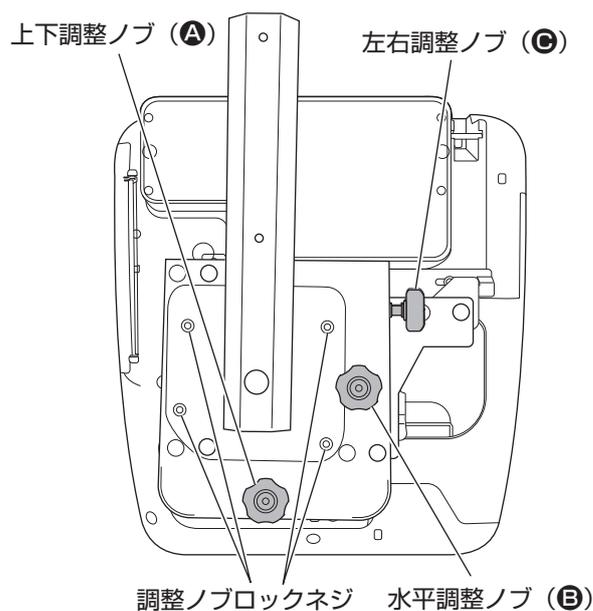
### 調整前の準備：画像を投影する

1. プロジェクターの電源を ON にします。

2. 画像を投影します。

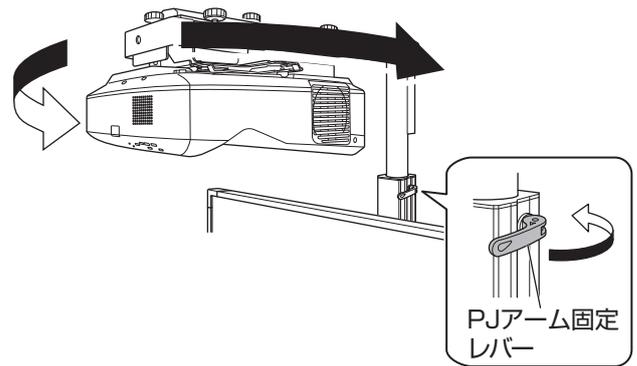
3. 調整ノブロックネジ4本を緩めます。

- ・調整ノブロックネジは、手で回せる程度まで緩めてください。



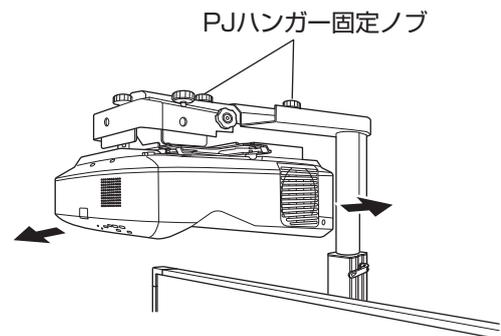
## プロジェクター位置の調整（左右）

1. PJアーム固定レバーを緩め、PJアームをスクリーンに対して水平方向に動かしてプロジェクターがスクリーンに対して90度の位置になるよう調整します。
2. PJアーム固定レバーを締めます。
  - ・PJアーム固定レバーを締めるときは、PJアームが回転しないよう手で押さえてください。



## プロジェクター位置の調整（前後）

1. PJハンガー固定ノブを緩め、PJハンガーを前後にスライドさせてプロジェクターと投影画面の距離を調整します。
2. PJアームのスリットの中心付近に合わせてPJハンガー固定ノブを締めます。



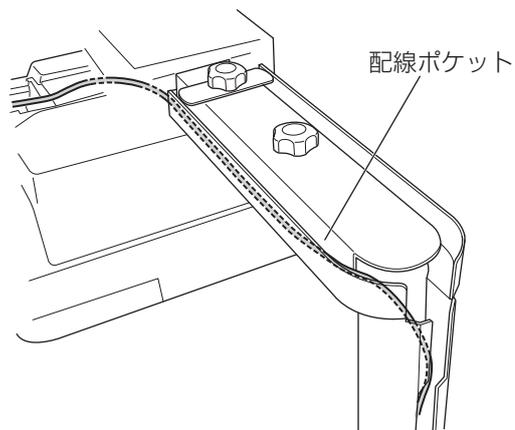
## プロジェクター位置を固定する

1. 調整ノブロックネジを締めます。

## ケーブルを整理する

1. ケーブルは、PJアームの配線ポケットにはわせて整理します。

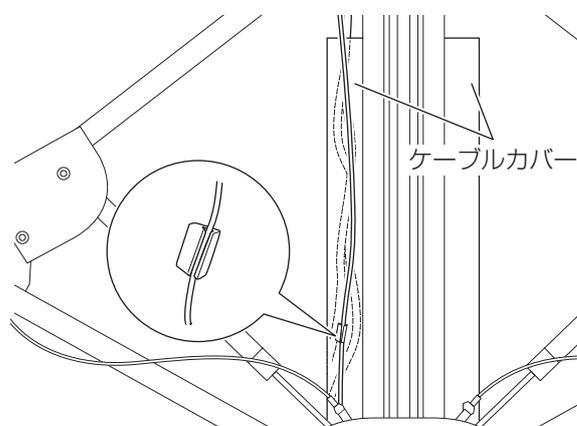
- ◆注記 パンタグラフにケーブルが干渉しないように整理してください。プロジェクターの電源ケーブルやパソコン接続ケーブルが短い場合は、延長ケーブルをご用意ください。



2. スクリーンボード背面のケーブルカバーのネジ2本を外し、各ケーブルを収納します。

3. ケーブルカバーのクリップに操作ワイヤーを通し、ネジを取り付けます。

- ◆注記 ケーブルカバー内には無理にケーブルを収納しないでください。スクリーンボード背面が押され、投影画面がゆがむ原因となります。

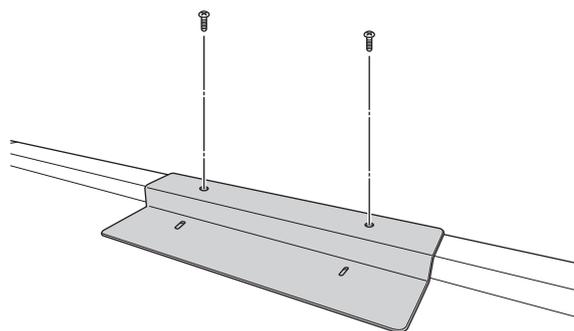




## タッチユニットを取り付ける

### 1. タッチユニット取付板を、ネジ2個でスクリーンボードに取り付けます。

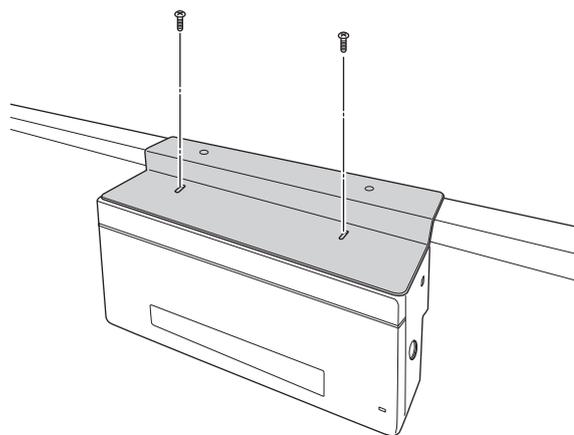
- ⑥ タッチユニット取付板
- ⑫ タッチユニット取付板固定ネジ (M4 × 14 セムス P=3) × 2個使用



### 2. タッチユニットをネジ2個で取り付けます。

- ・タッチユニットをスクリーンボードに押さえつけながら、密着させて固定してください。

- ⑬ タッチユニット本体固定ネジ (M3 × 10 セムス P=3) × 2個使用

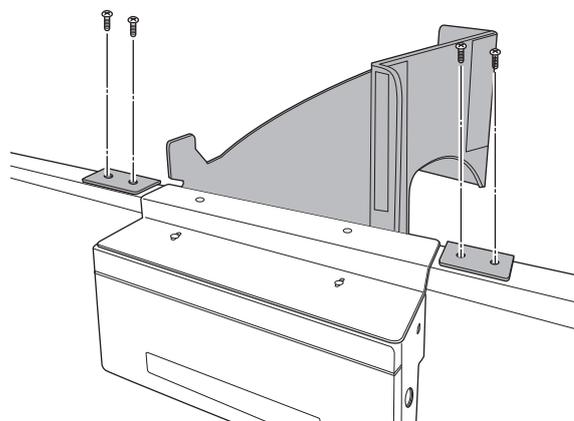


🔍参照 タッチユニットのキャリブレーションは、プロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

## スロープを取り付ける

### 1. スロープを、ネジ4個でスクリーンボードに取り付けます。

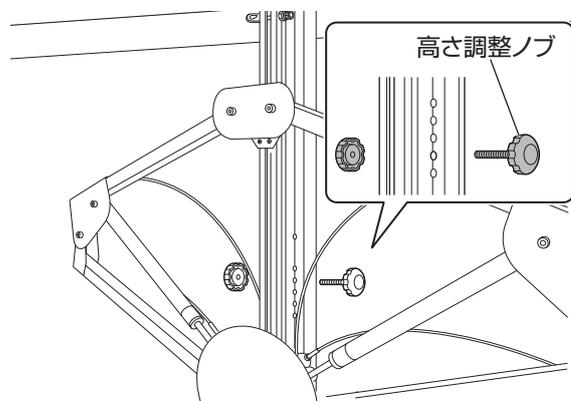
- ⑦ スロープ
- ⑭ スロープ固定ネジ (M4 × 18 セムス P=3) × 4個使用



## PJ ハンガーをセットする

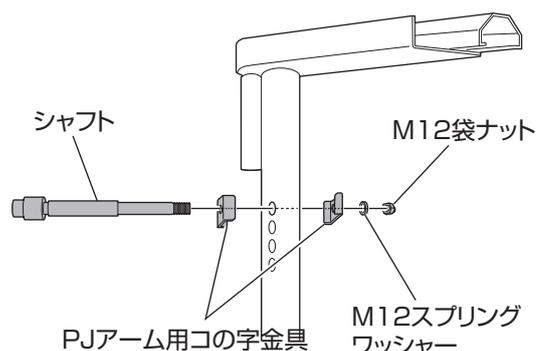
### スクリーン本体のPJアームの高さを設定する

1. PJアームの高さ調整ノブを上から5つ目の穴に差し込み、しっかりと確実に固定します。
  - ・最上段と2つ目の穴の間は少し間隔が空いています。



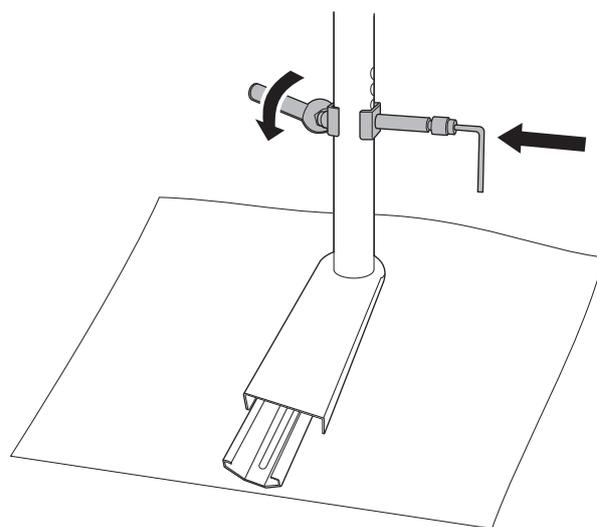
### PJアームにシャフトを取り付ける

1. シャフトをPJアームの一番上の穴に差し込み、PJアーム用コの字金具2個・ワッシャー・ナットと取り付けます。
  - ③ シャフトセット (シャフト、M12 袋ナット、M12 スプリングワッシャー) ×各1個使用
  - ④ PJアーム用コの字金具×2個使用
  - ⑯ 六角レンチ (大)
  - ⑰ スパナ (大)



### シャフト取り付け時の注意

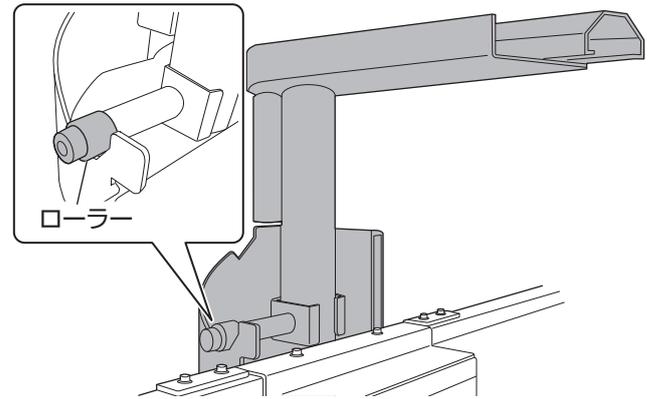
- PJアームを逆さにして平らな場所に置き、キズなどがつかないように布などを敷いて作業してください。
- シャフトに六角レンチ (大) を差し込み、スパナ (大) を回して締めます。  
※ ナットの締めすぎにご注意ください。



## PJ アームを取り付ける

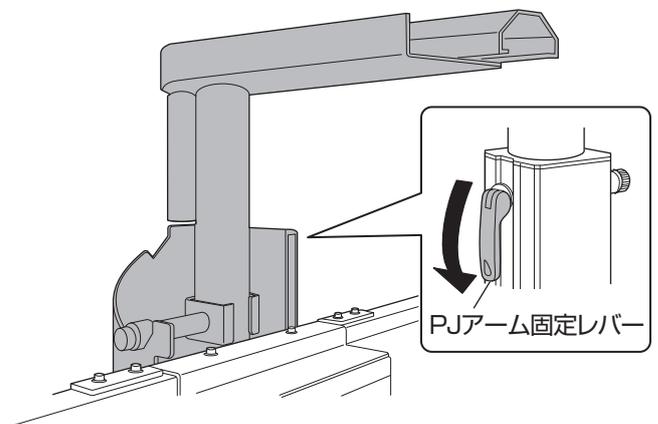
### 1. PJ アームを本体に差し込みます。

- ・PJハンガーの差し込み口が正面を向くようにセットしてください。
- ・PJアームのローラーがスロープに載っていることを必ず確認してください。

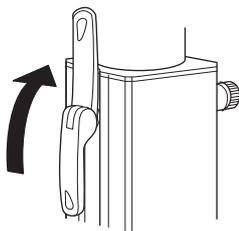


### 2. PJ アーム固定レバーを締めます。

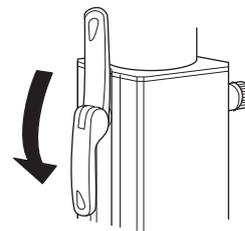
- ◆注記 安全カバー取り付け前にPJアームを動かさないでください。指をはさんでけがをするおそれがあります。



### PJ アーム固定レバーを緩める / 締める



PJ アーム固定レバーを起こして緩める

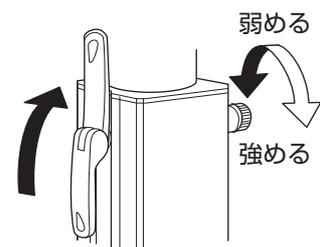


PJ アーム固定レバーを倒して締める

#### PJ アームの固定力が弱いとき…

PJアーム固定レバーを起こした状態で、ナットをイラストの向きに廻して固定力を調整してください。

※ナットの締めすぎにご注意ください。レバー破損の原因となります。



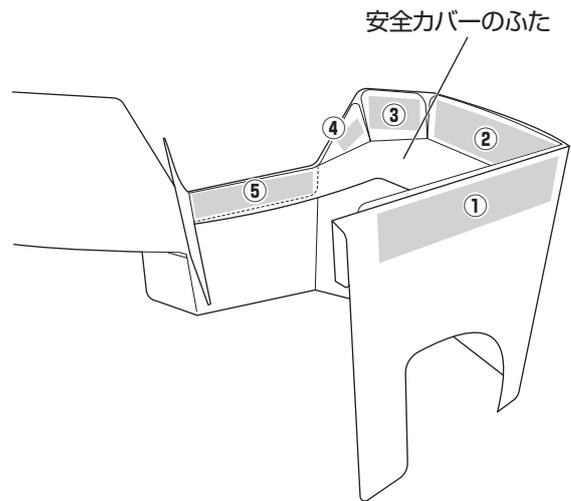
## 安全カバーを取り付ける

1. 安全カバーと安全カバーふたを、イラストの手順で5箇所貼り付けます。

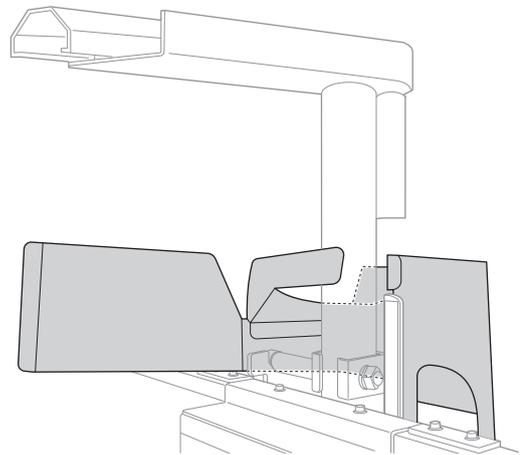
- ・安全カバーと安全カバーふたは、製品にあらかじめ貼付したベルクロテープで貼り付けてください。

⑧ 安全カバー×1枚使用

⑨ 安全カバーふた×1枚使用

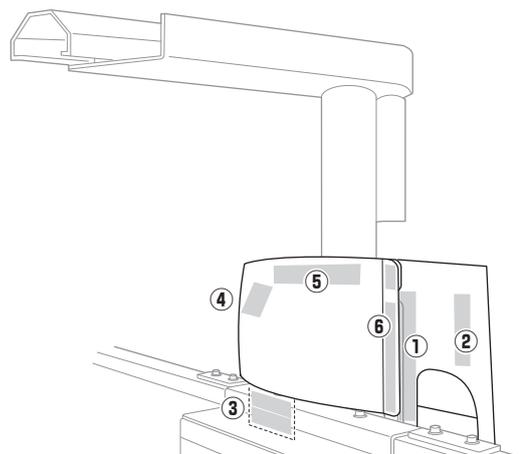


2. 安全カバーをスロープに巻き付けるようにセットします。



3. スロープと安全カバーを、イラストの手順で6箇所貼り付けます。

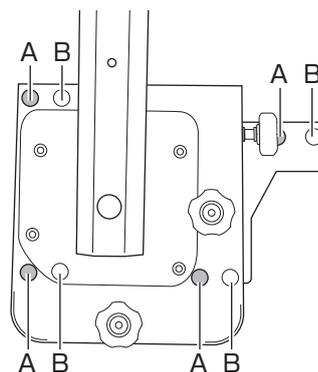
- ・安全カバーとスロープは、製品にあらかじめ貼付したベルクロテープで貼り付けてください。



## PJハンガーを取り付ける

### PJハンガーを取り付ける前に…

WUXGA プロジェクターの取り付けに使用するPJハンガーの取り付け穴は、右記イラストのA位置の4か所です。取り付け穴が誤っていると、投影画面の調整に影響を及ぼします。正しく取り付けてください。

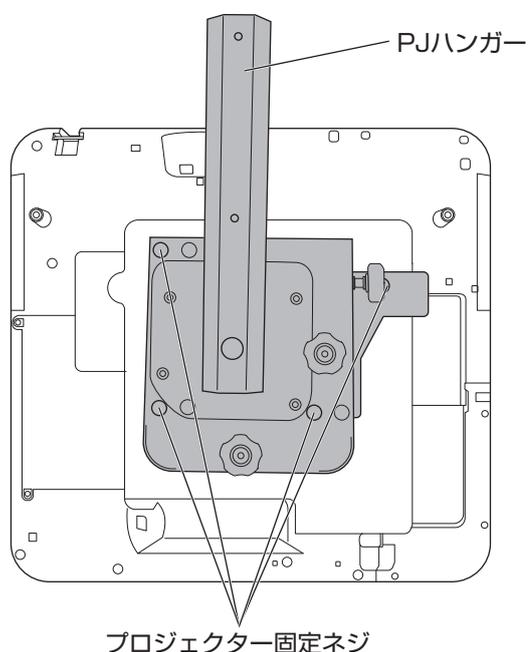


1. PJハンガーをイラストのようにセットします。プロジェクター固定ネジを穴から差し込み、4か所を固定します。ネジがしっかり締まっていることを確認してください。

⑩ プロジェクター固定ネジ (M4 × 10 セムス P=3) × 4個使用

- ・ プロジェクター本体や、作業台にキズが付かないよう注意してください。
- ・ 固定前に、必ずプロジェクターの前後を確認してください。
- ・ PJハンガーを分解しないでください。
- ・ 先端にマグネット付きのドライバーをお使いください。

※ プロジェクター固定ネジのネジ穴には多少あそびがあるため、PJハンガーとプロジェクターが直角になるように取り付けてください。

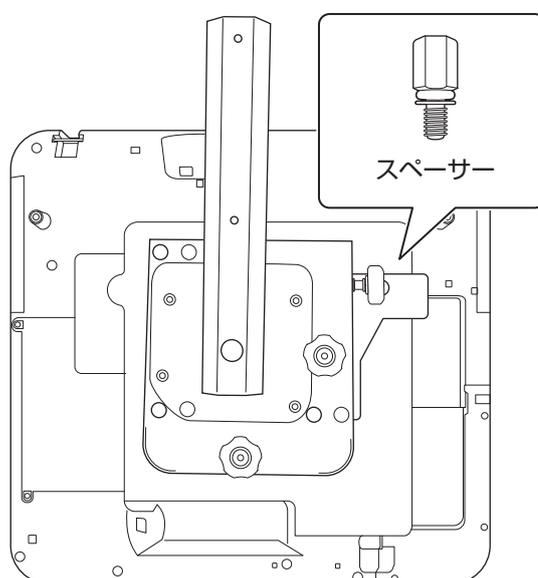


### 画像位置を上下に調整するときは…

PJハンガーとプロジェクターの間に、スペーサーを4か所取り付けてください。

⑥ スペーサー×4個使用

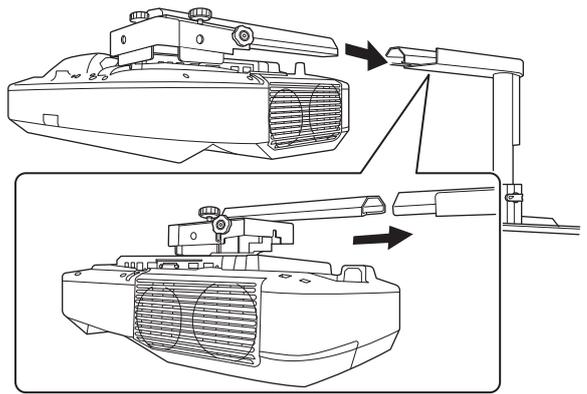
※ スペーサー使用の有無については、画像微調整チャート (22 ページ) を確認してください。



## PJハンガーをPJアームに取り付ける

1. プロジェクターを取り付けたPJハンガーをPJアームに差し込みます。

- ・ プロジェクターの前後を確認してください。

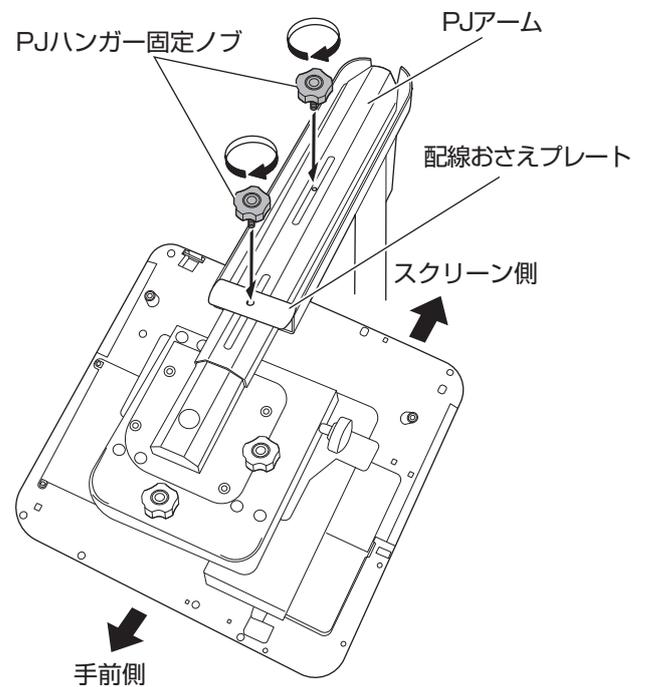


2. PJアームのネジ穴に、PJハンガー固定ノブを差し込んで締めます。

- ⑪ PJハンガー固定ノブ×2個使用

- ・ 配線おさえプレートを共締めしてください。

- ⑤ 配線おさえプレート×1個使用



## 投影画面を調整する

プロジェクターに内蔵されているテストパターンか、パソコンを接続して画像を投影し画面を調整します。プロジェクターにデジタル補正や台形補正などを設定している場合は、すべて初期化して補正されていない状態にしてください。

**参照** 詳しくはプロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

**注記** 画面を調整する前に、プロジェクターを左右に振らないでください。プロジェクターとスクリーンボードが接触し、破損の原因になります。

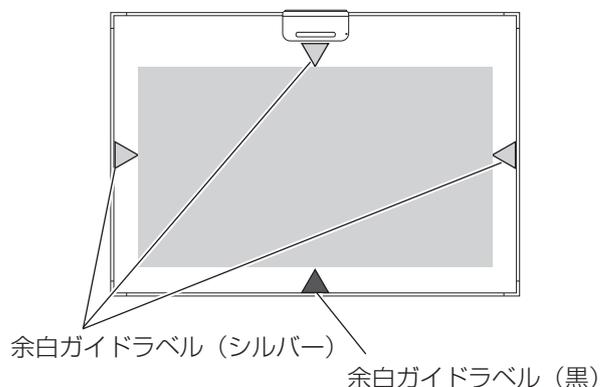
投影画面の調整には、解像度に影響が出る可能性がありますのでプロジェクターのデジタル補正機能を極力使用しないことをおすすめします。

### 調整前の準備： 余白ガイドラベルを貼り付ける

余白ガイドラベル4枚を、スクリーンボードのイラストの位置に貼り付けて投影画面がガイド内に収まるよう調整します。調整が終わったら余白ガイドラベルを剥がします。

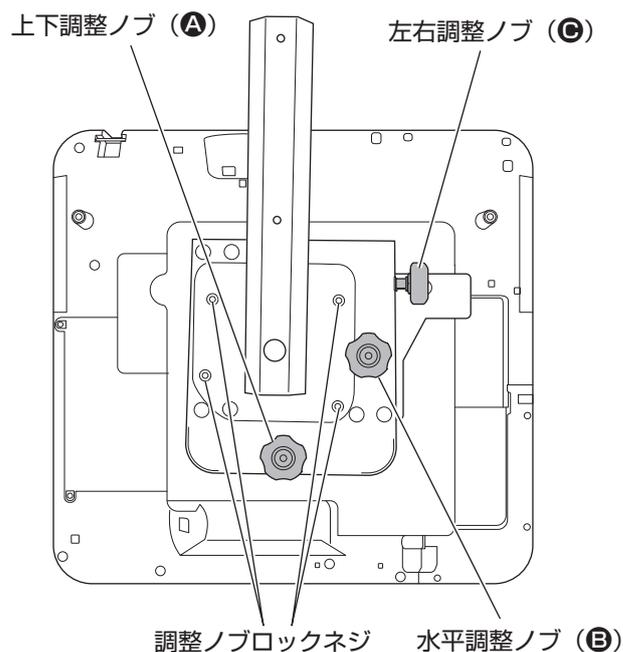
⑯ 余白ガイドラベル（シルバー）×3枚・（黒）×1枚使用

**注記** ガイド内に投影画面を収めないと、タッチユニットの動作に影響が出る可能性があります。



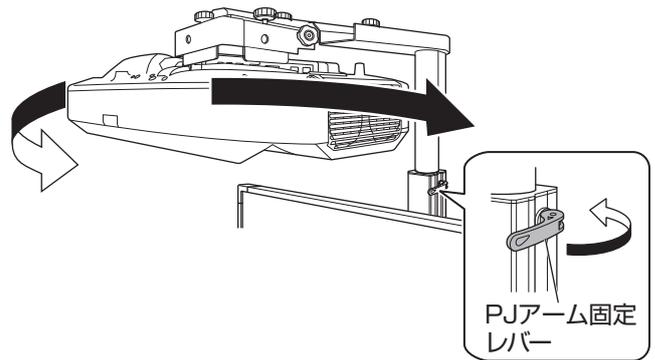
### 調整前の準備：画像を投影する

1. プロジェクターの電源を ON にします。
2. 画像を投影します。
3. 調整ノブロックネジ4本を緩めます。
  - ・調整ノブロックネジは、手で回せる程度まで緩めてください。



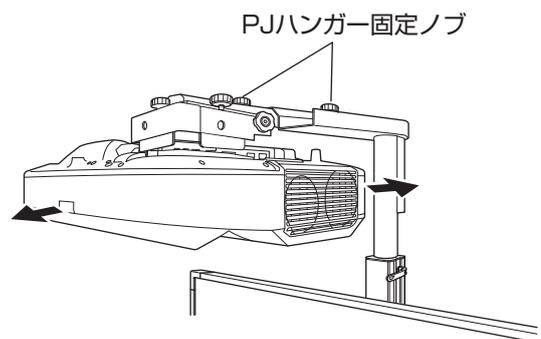
## プロジェクター位置の調整（左右）

1. PJ アーム固定レバーを緩め、PJ アームをスクリーンに対して水平方向に動かしてプロジェクターがスクリーンに対して 90 度の位置になるよう調整します。
2. PJ アーム固定レバーを締めます。
  - ・ PJ アーム固定レバーを締めるときは、PJ アームが回転しないよう手で押さえてください。



## プロジェクター位置の調整（前後）

1. PJ ハンガー固定ノブを緩め、PJ ハンガーを前後にスライドさせてプロジェクターと投影画面の距離を調整します。
2. PJ アームのスリットを中心付近に合わせて PJ ハンガー固定ノブを締めます。



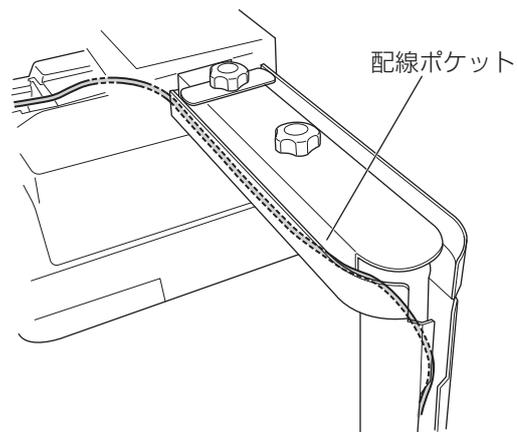
## プロジェクター位置を固定する

1. 調整ノブロックネジを締めます。

## ケーブルを整理する

1. ケーブルは、PJアームの配線ポケットにはわせて整理します。

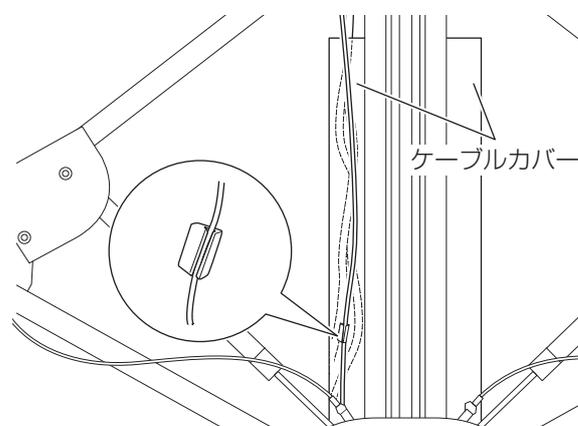
- ◆注記 パンタグラフにケーブルが干渉しないように整理してください。プロジェクターの電源ケーブルやパソコン接続ケーブルが短い場合は、延長ケーブルをご用意ください。



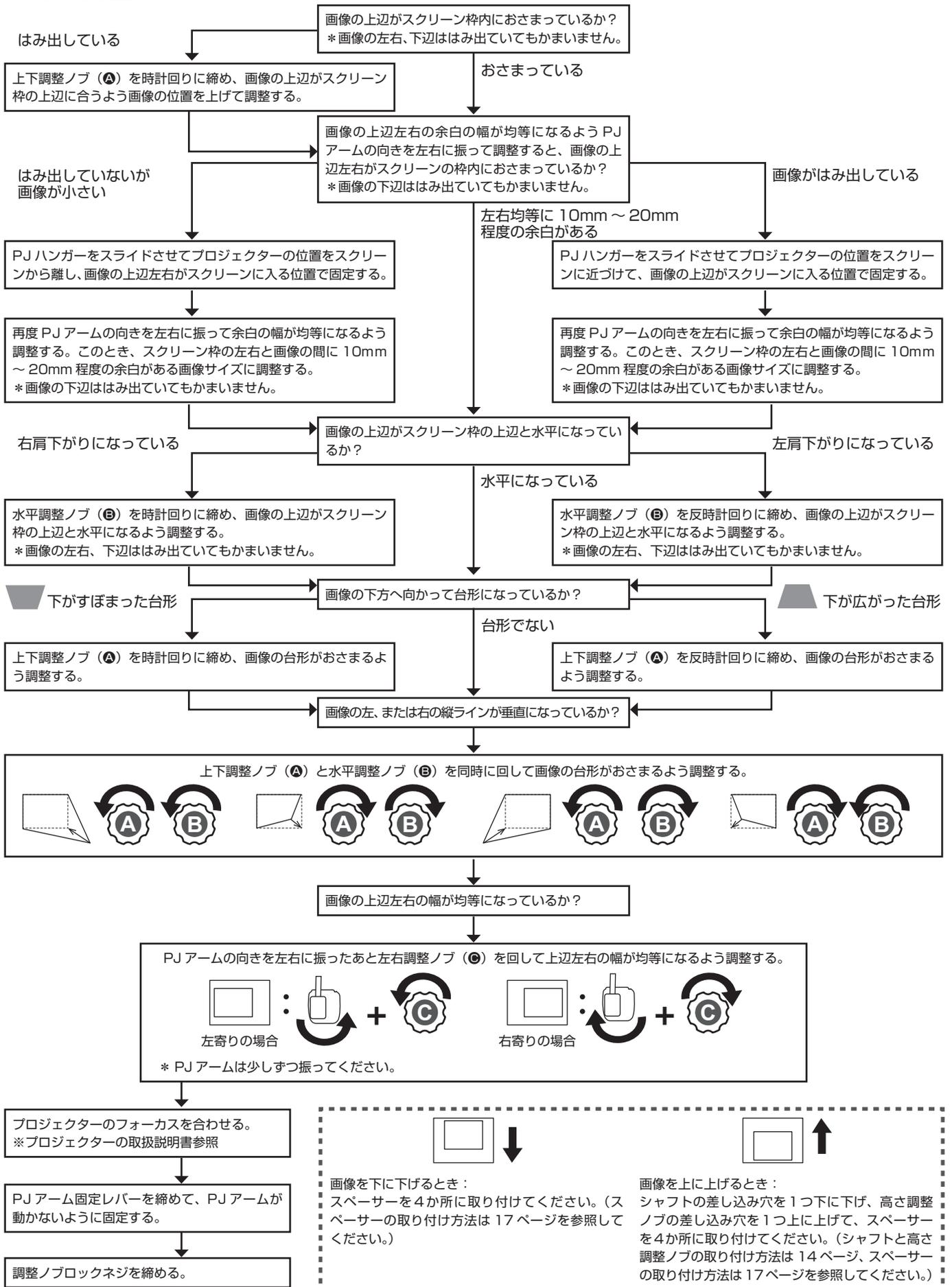
2. スクリーンボード背面のケーブルカバーのネジ2本を外し、各ケーブルを収納します。

3. ケーブルカバーのクリップに操作ワイヤーを通し、ネジを取り付けます。

- ◆注記 ケーブルカバー内には無理にケーブルを収納しないでください。スクリーンボード背面が押され、投影画面がゆがむ原因となります。



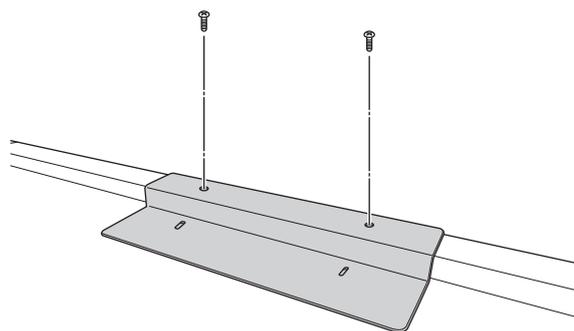
# 画像微調整チャート



## タッチユニットを取り付ける

### 1. タッチユニット取付板を、ネジ2個でスクリーンボードに取り付けます。

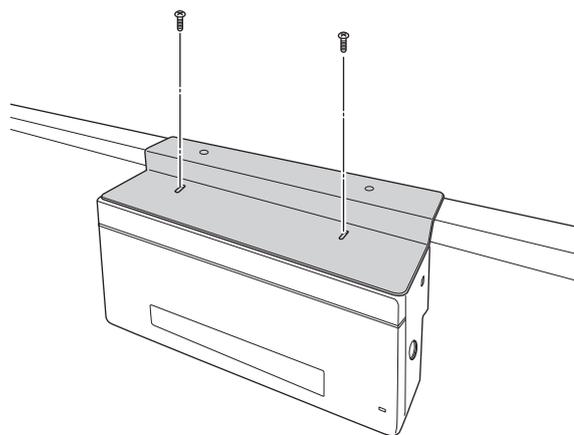
- ⑥ タッチユニット取付板
- ⑫ タッチユニット取付板固定ネジ (M4 × 14 セムス P=3) × 2個使用



### 2. タッチユニットをネジ2個で取り付けます。

- ・タッチユニットをスクリーンボードに押さえつけながら、密着させて固定してください。

- ⑬ タッチユニット本体固定ネジ (M3 × 10 セムス P=3) × 2個使用

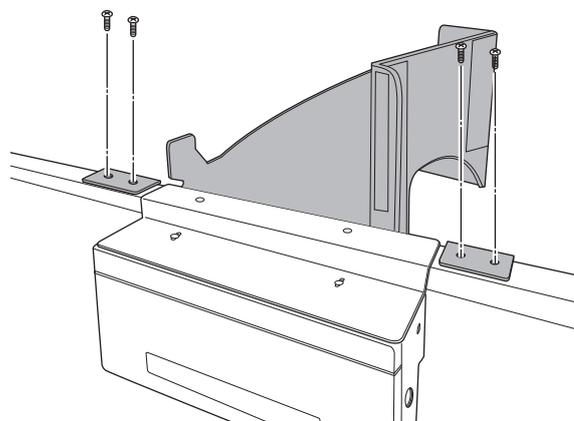


🔍参照 タッチユニットのキャリブレーションは、プロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

## スロープを取り付ける

### 1. スロープを、ネジ4個でスクリーンボードに取り付けます。

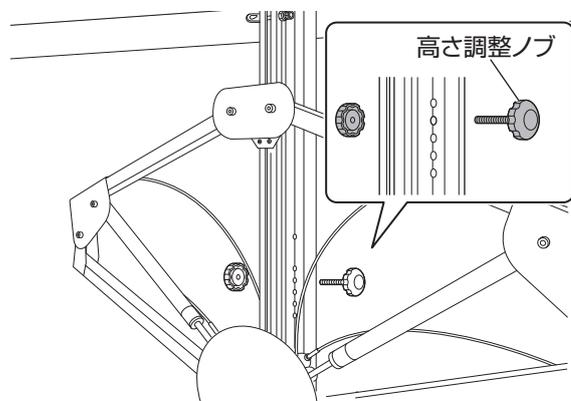
- ⑦ スロープ
- ⑭ スロープ固定ネジ (M4 × 18 セムス P=3) × 4個使用



## PJ ハンガーをセットする

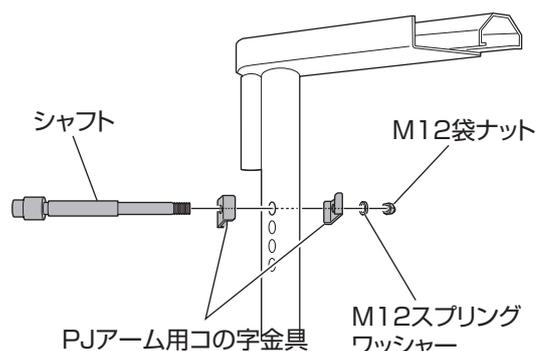
### スクリーン本体のPJアームの高さを設定する

1. PJアームの高さ調整ノブを上から3つ目の穴に差し込み、しっかりと確実に固定します。
  - ・最上段と2つ目の穴の間は少し間隔が空いています。



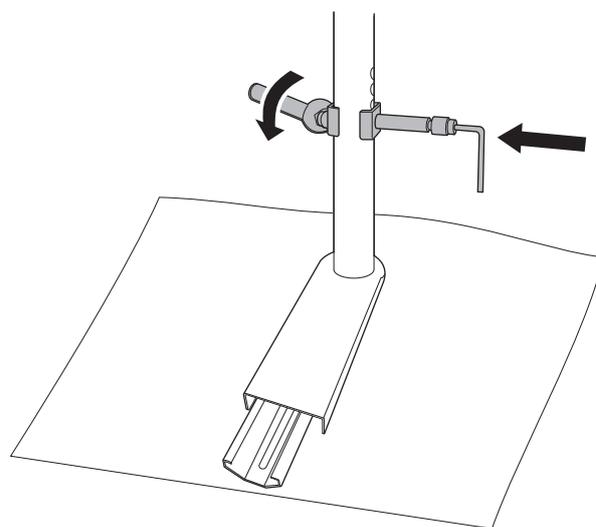
### PJアームにシャフトを取り付ける

1. シャフトをPJアームの一番上の穴に差し込み、PJアーム用コの字金具2個・ワッシャー・ナットと取り付けます。
  - ③ シャフトセット (シャフト、M12 袋ナット、M12 スプリングワッシャー) ×各1個使用
  - ④ PJアーム用コの字金具×2個使用
  - ⑯ 六角レンチ (大)
  - ⑰ スパナ (大)



### シャフト取り付け時の注意

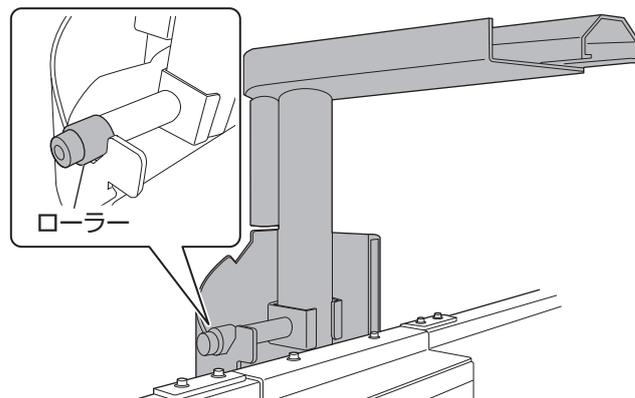
- ・ PJアームを逆さにして平らな場所に置き、キズなどがつかないように布などを敷いて作業してください。
- ・ シャフトに六角レンチ (大) を差し込み、スパナ (大) を回して締めます。  
※ ナットの締めすぎにご注意ください。



## PJ アームを取り付ける

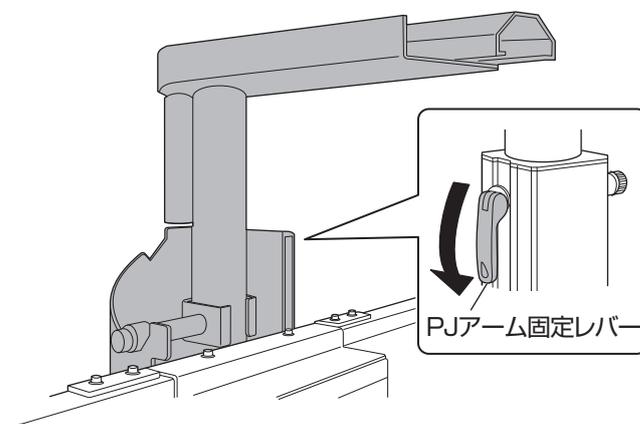
### 1. PJ アームを本体に差し込みます。

- ・PJ ハンガーの差し込み口が正面を向くようにセットしてください。
- ・PJ アームのローラーがスロープに載っていることを必ず確認してください。

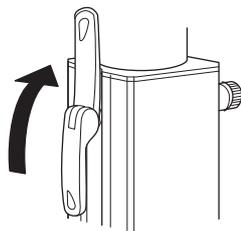


### 2. PJ アーム固定レバーを締めます。

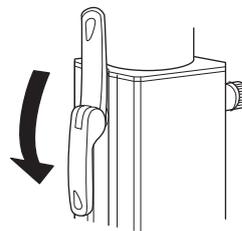
- ◆注記 安全カバー取り付け前にPJアームを動かさないでください。指をはさんでけがをするおそれがあります。



### PJ アーム固定レバーを緩める / 締める



PJ アーム固定レバーを起こして緩める

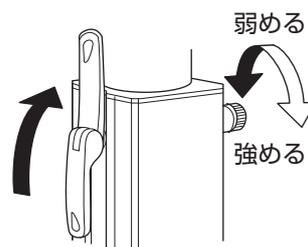


PJ アーム固定レバーを倒して締める

#### PJ アームの固定力が弱いとき…

PJ アーム固定レバーを起こした状態で、ナットをイラストの向きに廻して固定力を調整してください。

※ナットの締めすぎにご注意ください。レバー破損の原因となります。



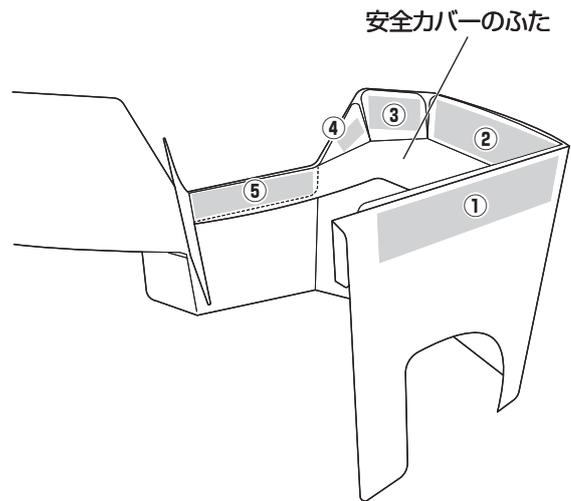
## 安全カバーを取り付ける

1. 安全カバーと安全カバーふたを、イラストの手順で5箇所貼り付けます。

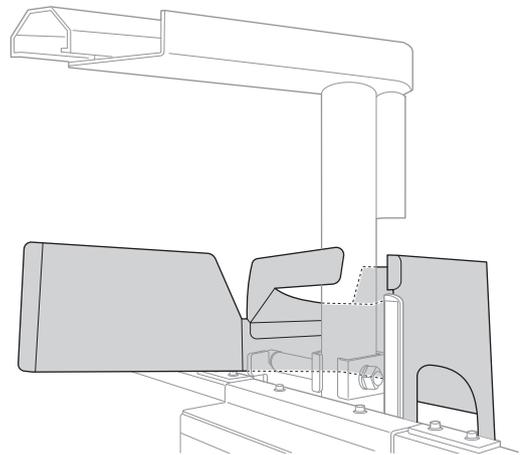
- ・安全カバーと安全カバーふたは、製品にあらかじめ貼付したベルクロテープで貼り付けてください。

⑧ 安全カバー×1枚使用

⑨ 安全カバーふた×1枚使用

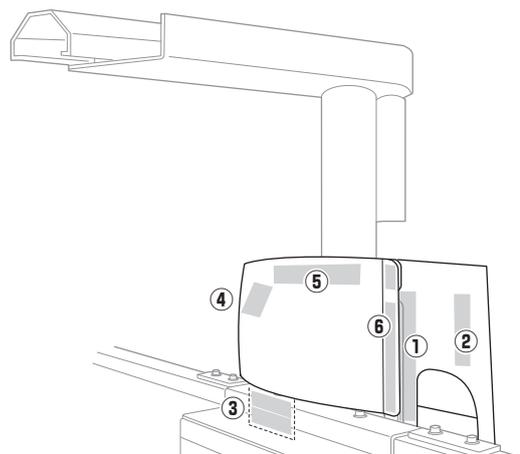


2. 安全カバーをスロープに巻き付けるようにセットします。



3. スロープと安全カバーを、イラストの手順で6箇所貼り付けます。

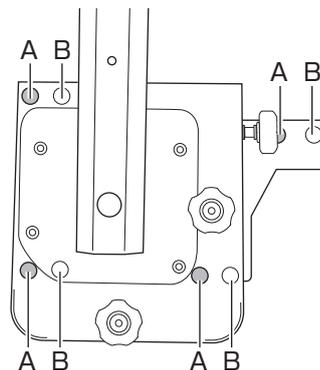
- ・安全カバーとスロープは、製品にあらかじめ貼付したベルクロテープで貼り付けてください。



## PJハンガーを取り付ける

### PJハンガーを取り付ける前に…

WUXGA-LE プロジェクターの取り付けに使用するPJハンガーの取り付け穴は、右記イラストのA位置の4か所です。取り付け穴が誤っていると、投影画面の調整に影響を及ぼします。正しく取り付けてください。

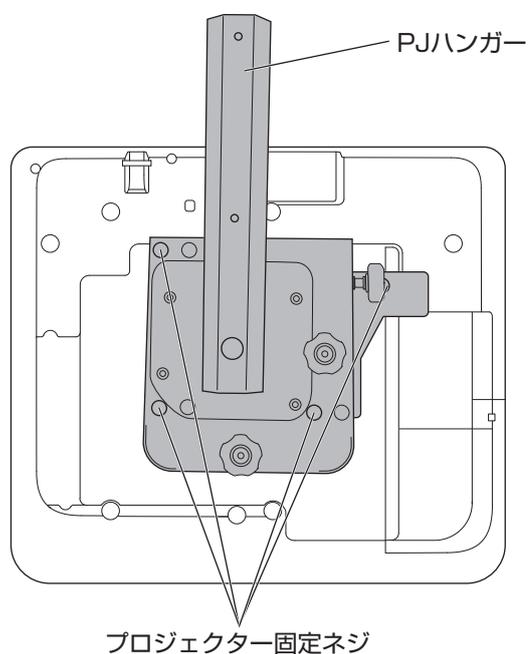


1. PJハンガーをイラストのようにセットします。プロジェクター固定ネジを穴から差し込み、4か所を固定します。ネジがしっかり締まっていることを確認してください。

⑩ プロジェクター固定ネジ (M4 × 10 セムス P=3) × 4個使用

- ・ プロジェクター本体や、作業台にキズが付かないよう注意してください。
- ・ 固定前に、必ずプロジェクターの前後を確認してください。
- ・ PJハンガーを分解しないでください。
- ・ 先端にマグネット付きのドライバーをお使いください。

※ プロジェクター固定ネジのネジ穴には多少あそびがあるため、PJハンガーとプロジェクターが直角になるように取り付けてください。

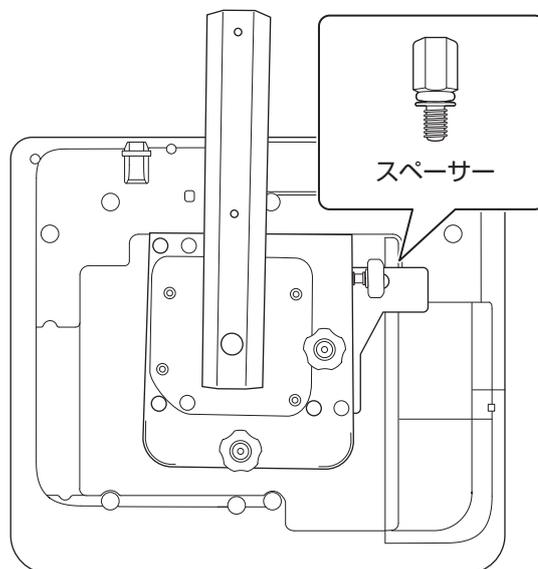


### 画像位置を上下に調整するときは…

PJハンガーとプロジェクターの間に、スペーサーを4か所取り付けてください。

⑥ スペーサー×4個使用

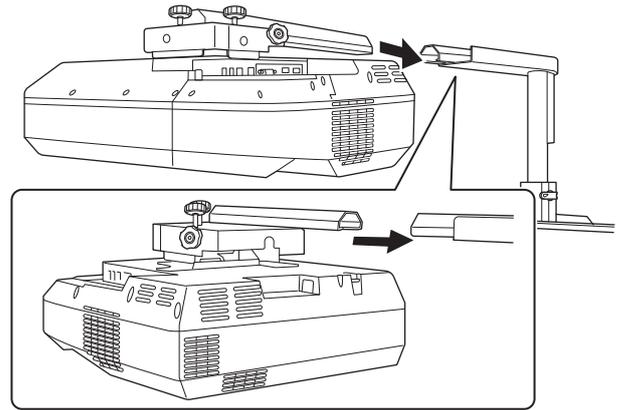
※ スペーサー使用の有無については、画像微調整チャート (32 ページ) を確認してください。



## PJハンガーをPJアームに取り付ける

1. プロジェクターを取り付けたPJハンガーをPJアームに差し込みます。

- ・ プロジェクターの前後を確認してください。

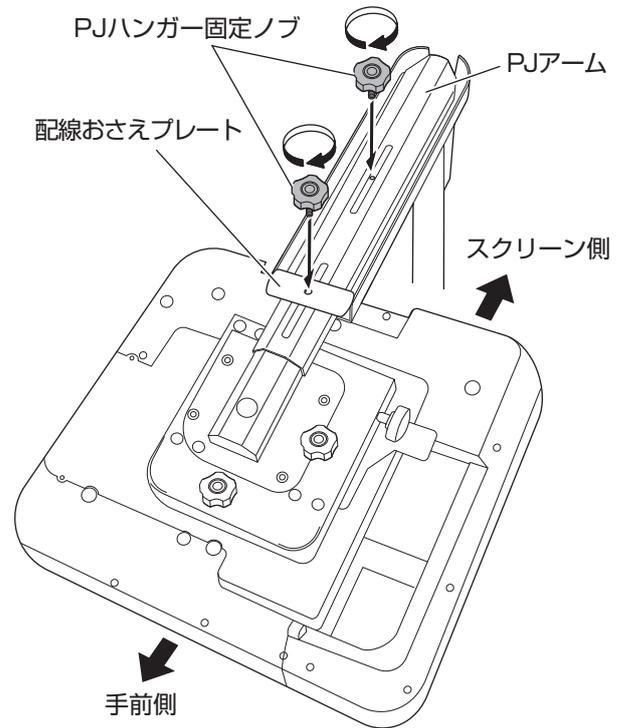


2. PJアームのネジ穴に、PJハンガー固定ノブを差し込んで締めます。

① PJハンガー固定ノブ×2個使用

- ・ 配線おさえプレートを共締めしてください。

⑤ 配線おさえプレート×1個使用



## 投影画面を調整する

プロジェクターに内蔵されているテストパターンか、パソコンを接続して画像を投影し画面を調整します。プロジェクターにデジタル補正や台形補正などを設定している場合は、すべて初期化して補正されていない状態にしてください。

**参照** 詳しくはプロジェクター本体の取扱説明書を参照してください。

**注記** 画面を調整する前に、プロジェクターを左右に振らないでください。プロジェクターとスクリーンボードが接触し、破損の原因になります。

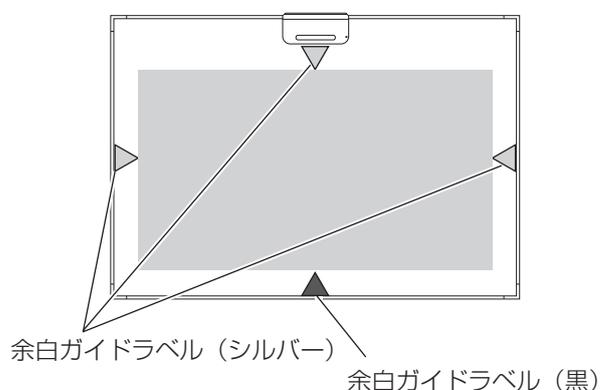
投影画面の調整には、解像度に影響が出る可能性がありますのでプロジェクターのデジタル補正機能を極力使用しないことをおすすめします。

### 調整前の準備： 余白ガイドラベルを貼り付ける

余白ガイドラベル4枚を、スクリーンボードのイラストの位置に貼り付けて投影画面がガイド内に収まるよう調整します。調整が終わったら余白ガイドラベルを剥がします。

⑯ 余白ガイドラベル（シルバー）×3枚・（黒）×1枚使用

**注記** ガイド内に投影画面を収めないと、タッチユニットの動作に影響が出る可能性があります。



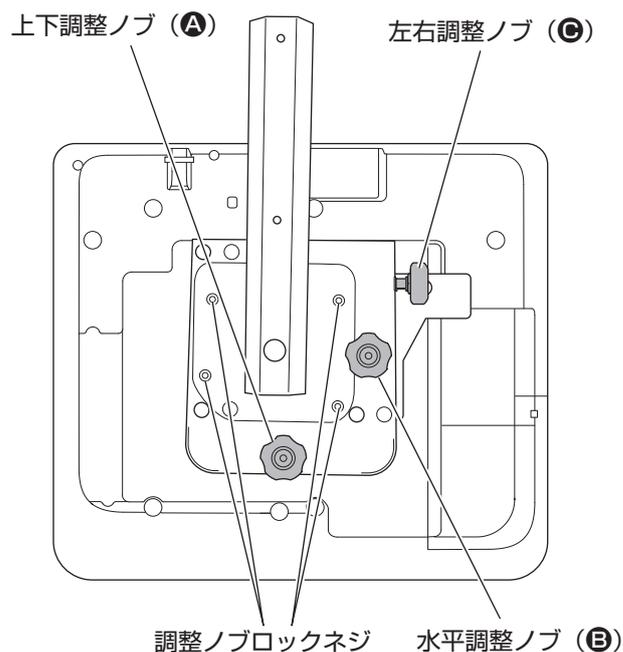
### 調整前の準備：画像を投影する

1. プロジェクターの電源を ON にします。

2. 画像を投影します。

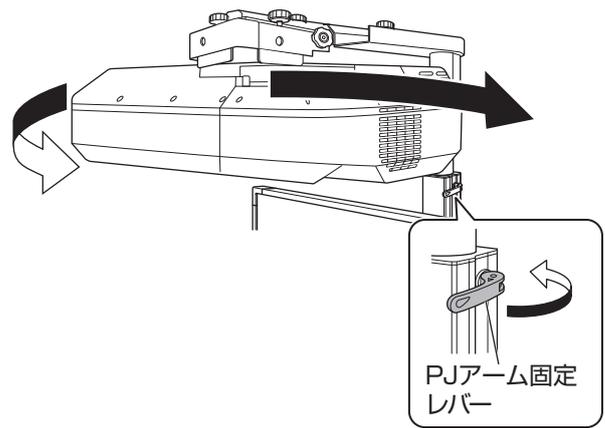
3. 調整ノブロックネジ4本を緩めます。

- 調整ノブロックネジは、手で回せる程度まで緩めてください。



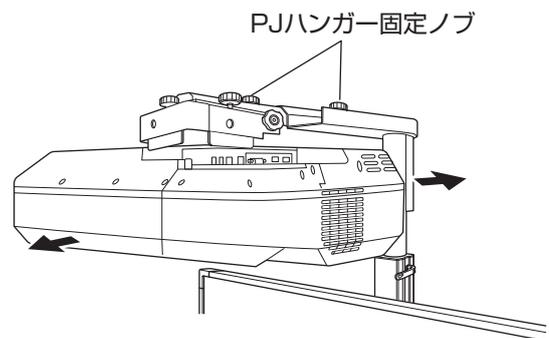
## プロジェクター位置の調整（左右）

1. PJアーム固定レバーを緩め、PJアームをスクリーンに対して水平方向に動かしてプロジェクターがスクリーンに対して90度の位置になるよう調整します。
2. PJアーム固定レバーを締めます。
  - ・PJアーム固定レバーを締めるときは、PJアームが回転しないよう手で押さえてください。



## プロジェクター位置の調整（前後）

1. PJハンガー固定ノブを緩め、PJハンガーを前後にスライドさせてプロジェクターと投影画面の距離を調整します。
2. PJアームのスリットの中心付近に合わせてPJハンガー固定ノブを締めます。



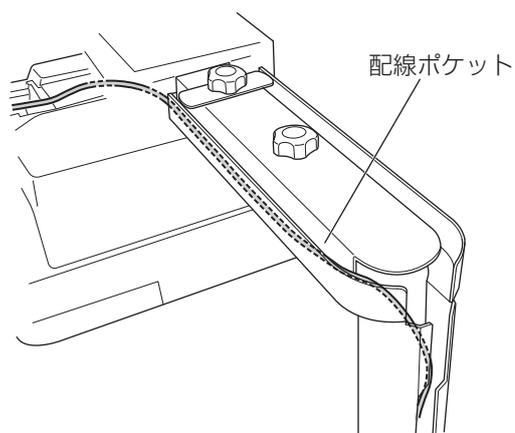
## プロジェクター位置を固定する

1. 調整ノブロックネジを締めます。

## ケーブルを整理する

1. ケーブルは、PJアームの配線ポケットにはわせて整理します。

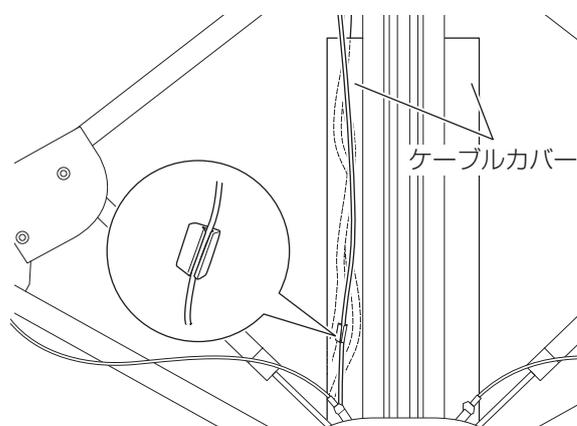
- ◆注記 パンタグラフにケーブルが干渉しないように整理してください。プロジェクターの電源ケーブルやパソコン接続ケーブルが短い場合は、延長ケーブルをご用意ください。



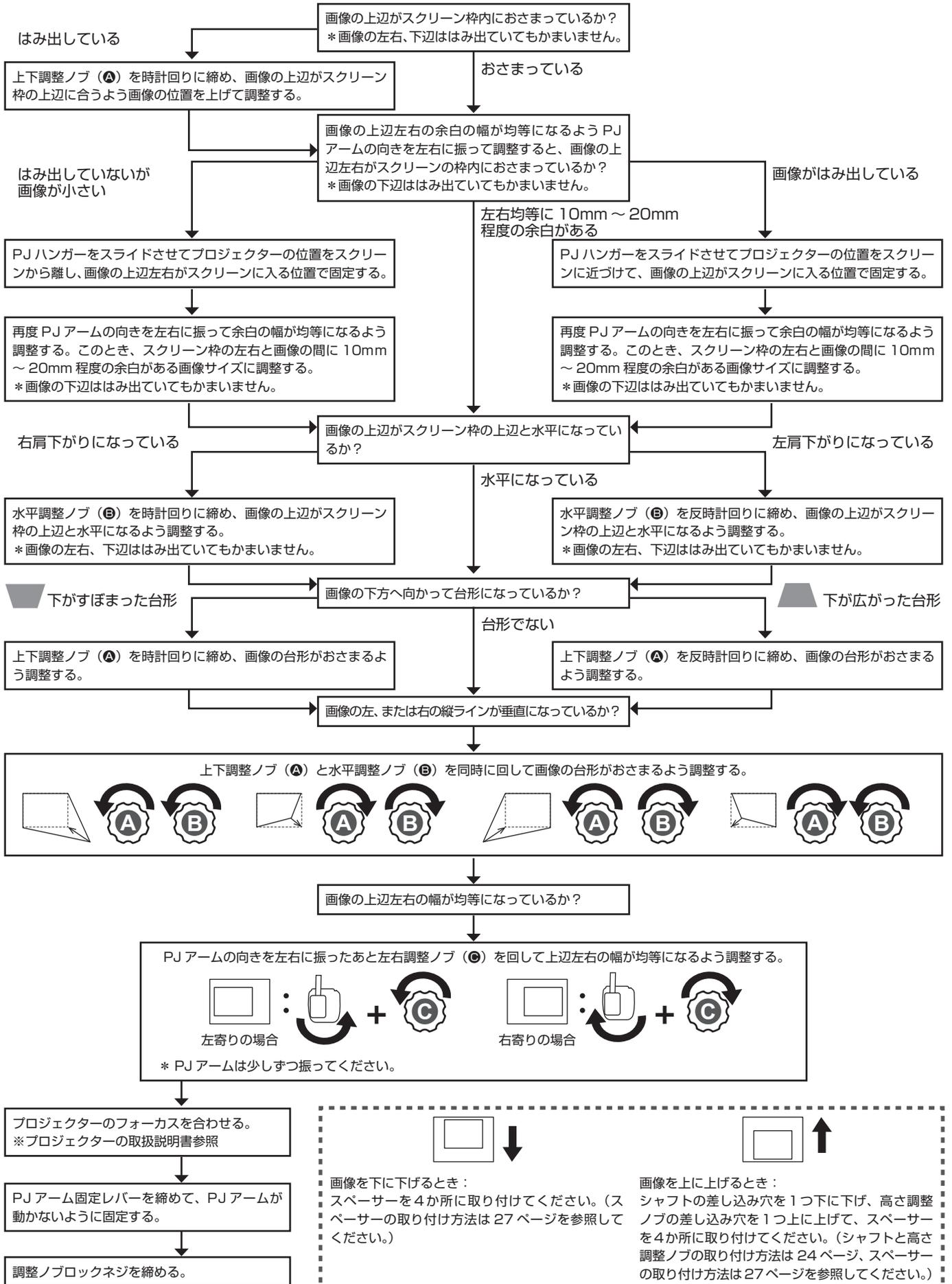
2. スクリーンボード背面のケーブルカバーのネジ2本を外し、各ケーブルを収納します。

3. ケーブルカバーのクリップに操作ワイヤーを通し、ネジを取り付けます。

- ◆注記 ケーブルカバー内には無理にケーブルを収納しないでください。スクリーンボード背面が押され、投影画面がゆがむ原因となります。



# 画像微調整チャート



製造元・問い合わせ先

泉 株式会社 樹脂事業部 東京樹脂課 〒 141-0021 東京都品川区上大崎三丁目 1 番 1 号 JR 東急目黒ビル 15F TEL : (03) 5719-7482

WXGA  
WUXGA  
WUXGA-LE